



みんなで作る、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

No.723

2023.

4

びらとり



平取小学校入学式
(本町 4月7日)

町政執行方針 (要約版)

令和5年2月2日町議会定例会が3月6日(月)に招集され、町長が町政、教育長が教育行政のそれぞれ令和5年度執行方針について説明しました。本誌ではその概要のみをお知らせします。詳細な全文は町ホームページにてご覧ください。



町長 遠藤 桂一

私は、町民の皆様の町政への信頼と期待に応えるよう、これまでの行政経験を活かし、議会と町民との連携、合意を意図して、平取町のまちづくりを全力を尽くす所存です。民の皆様のご理解、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度平取町各会計予算は、町民、議会からの意見なども聴取し取りまとめ、第6次平取町総合計画実施計画を基本として編成いたしました。一般会計の総額は68億3,800万円、令和4年度と比べ6.4%、4億6,800万円の減となっており、財源の確保など、依然として厳しい状況は続きますが、予算の執行にあたり総合計画でのまちづくりのテーマごとに、次の内容で重点的に取り組んでいく所存です。

豊かな心を育む まちづくり

【アイヌ文化の振興】

「平取町アイヌ総合政策推進基本計画」や「アイヌ施策推進法」に基づく「平取町アイヌ施策推進地域計画」を基本に、「アイヌ政策推進交付金」などの活用により、さらに関連事業を推進してまいります。平取町アイヌ文化振興公社に委託しているイオル再生事業、21世紀アイヌ文化伝承の森プロジェクト事業、大学間連携事業、シシリムカ文

化大学運営事業については、さらに内容の充実を図り、継続的に推進してまいります。令和4年度に完成したイオル文化交流センターは、アイヌ文化の担い手の育成や交流の新たな拠点としての活用を図ります。あわせて平取町アイヌ工芸伝承館を拠点にアイヌ工芸の技術継承、工芸体験を通じてアイヌ文化の理解促進をめざします。また、アイヌ文化環境保全対策事業については、沙流川流域全体を対象とした調査や、平取ダム付帯施設の「ノカピライウオロ ビジターセンター」を拠点とした啓発業務なども含め適切に対応してまいります。

【平取高等学校の存続】

平取高等学校は入学者が20名に満たない年が続いており、生徒数の確保はさらに厳しい現状があります。このままでは存続が危ぶまれ、地域の高校がなくなることに由来する計り知れない地域の衰退が懸念されるところです。これらの状況を踏まえ、令和4年度に、行政、議会、町民、高校、外部学識経験者等で組織する「平取高校の魅力化を図り存続させる会」を立ち上げ、町内中学卒業生の平取高校への進学率向上をめざすとともに、町外からの入学者の獲得も検討することとしてまいります。「びらとり義経塾」の運営をはじめ、様々な量的支援策等を継続しながら、募集方法

健康で楽しく暮らせる まちづくり

【保健・健康づくり】

「健康づくりはまちづくり」を理念として各分野での事業体制等の充実を図ってまいります。保健事業は、町民の健康増進のための生活の質の改善と、医療費の適正化を同時にめざす上で重要な事業としてとらえ、生活習慣病の重症化予防に重点を置き、各種健康診査の受診勧奨などの効果が、受診率は伸びています。さらにきめ細かな保健指導を進めます。あわせてアフターコロナの環境の変化による健康維持等について対応を図ってまいります。また、健康でいられることの重要な要素は食にあることから、「平取町食育推進計画」に則した食育事業を継続してまいります。



平取高校 ボランティア部

の検討や、生徒の受け入れ体制の整備など、平取高校の魅力化と存続について平取高校、北海道教育委員会、町教育委員会などとの連携により、新たな取り組みや対応策の強化を図ってまいります。

【医療】

平取町国民健康保険病院の運営については、町民の命と健康を守るため、救急病院の認定を継続しており、関係機関とも連携強化を図りながら地域医療の役割をしっかりと担ってまいります。国の公立病院経営強化ガイドラインに沿った、公立病院経営強化プランを策定し、経営の健全化の具体的な方策や、昨年議会で請願採択された人工透析の可能性についてもあわせて、様々な角度から検討を行い、持続可能な地域医療提供体制となる病院づくりをさらに進めてまいります。また、振内診療所を国民健康保険直営診療所にするこ



認定こども園バチラー保育園

体制について、現実的な方向性を検討してまいります。

【高齢者】

高齢者が住み慣れた町で尊厳ある自立した生活を送ることができるよう、質の高い保健医療・福祉サービス、将来にわたって安定した介護保険制度の確立をめざすため、病院、地域包括支援センター、平取町社会福祉協議会や平取福祉会、企業等が相互に連携し、健康づくりや介護予防に取り組んでいける体制のさらなる強化充実を図ってまいります。また、現在1ユニット9名

【子育て】

平取町内で多くの子ども達が健やかに成長できる環境づくりのため、妊娠前から切れ目なく必要な支援を受けられるよう、「子育て世代包括支援センター」の支援内容の拡充を図ります。国が掲げる異次元の少子化対策等も注視し、さらにきめ細かな子育て支援策を検討してまいります。

また、バチラー保育園が令和5年度より認定こども園に移行することに伴い、町立へき地保育所や今後の保育

【障がい者】

障がいのある方の意向を的確に反映し、地域において

活力を生むまちづくり

【農業】

当町の主要作物であるトマトの栽培について、昨年は天候不良等が要因で、販売額が40億円には至りませんでした。この「びらとりトマト」のブランドは確実に定着しております。しかし、生産農家の高齢化が進む中、後継者問題は顕著となっており、産地維持のための担い手育成をさらに進めなければなりません。これまでの新規就農支援制度は、関係団体による支援策及び地元受入協議会のご尽力によって大きな成果を上げてきており、新年度は夫婦型で2戸の農業研修生を受け入れる予定です。また、令和5年度から運用を開始する「就農チャレンジ農場」

必要となる障がい福祉サービス、相談支援、及び地域生活支援事業などの各種サービスを計画的に提供できるように「第6期平取町障がい福祉計画・第2期平取町障がい児福祉計画」に基づき推進してまいります。平取養護学校高等部の卒業生などを含む障がいのある方が、可能な限り地域での自立をめざすことができよう、就労の場の拡充と住居の確保が求められております。これらについては関係団体と連携し、より具体的な整備を検討してまいります。

では、農業研修生として単身者を受入れることから、担い手確保に向けては多様な受入及び就農に向けた支援をさらに進めてまいります。トマトと並ぶ平取町ブランドの「びらとり和牛」については、素牛価格が依然として堅調なこと等が重なり、平取町畜産公社を含む肥育農家の経営は厳しい状況にあります。今後、畜産公社は町内の繁殖農家先進・優良事例を取り入れた繁殖・肥育一貫体制強化に向け関係農家との連携や情報共有及び研修等により、飼養管理技術の向上を図り、歴史あるブランドの保持のための取り組みを強化してまいります。酪農・養豚・軽種馬等の畜産振興についても生産者及び関係団体と協議連携し、平取町としての支援を継続してまいります。農業生産基盤と農村生活環境の整備を通じて、農業の持続的発展、農村の振興、食料の安定供給、多面的機能の発揮を図ってまいります。貴気別地区の営農飲雑用水施設、排水路などの整備を中山間地域農業農村総合整備事業として取り組んでまいります。また、国の畑地化促進事業による水田の畑地化が急速に進むと見込まれる中、畑地化後農地の有効活用や流動化、効率的な農業施設維持管理等に向け、関係機関との協議、検討を進めてまいります。



木育教室

【林業】

森林の有する公益的機能が発揮される適切な森林管理を進めると同時に、町有林の循環型経営を確立し事業量の安定を図り、あわせて森林業の基盤である林道の開設や適切な維持管理も継続してまいります。また、森林環境譲与税を活用して民有林の間伐推進、作業路の修繕などにより安定した森林整備を推進するとともに、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む「木育」の推進と町内の公共施設などの木質化による木材利用の促進を継続的に進めてまいります。

は、林業担い手対策事業を創設し、担い手不足や作業従事者の高齢化が著しい林業並びに木材製造業について改善を図ってまいります。バイオマスセンターの稼働を契機に林地残材や未利用材の活用方法を検討し、木質での再生可能エネルギーの創出による地域内経済循環型システムのさらなる構築をめざしてまいります。

【商工業】

人口減少、時代の変化や消費者の価値観の変化などから、小売店をはじめ商店が減少し、街なかのかつての活気やにぎわいが失われております。以前のような商店経営が難しい環境にはあります。平取町でも生業として成り立つ、消費者のニーズに呼応できる職種や商法なども検証し、後継者対策、空き店舗の活用や外部からの人材の確保なども、商工会と連携し進めてまいります。

さらに、人口減少の抑制や雇用の確保という見地から、当町が提供できる、地理的条件や自然的条件にマッチした企業誘致を進めてまいります。

ふるさと納税については、令和2年度をピークに伸び悩んでいくこともあり、平取町の魅力向上と新たな商品開発や販路拡大へとつなげるため、事務等の改善を図りながら取り組んでまいります。



義経雪あかり

【観光】

平取町のこれからの観光振興施策として、生業として成り立ち、雇用の創出、アイヌ文化の振興にもつなげる、平取型ツーリズムを提供するため、令和4年度に法人化を図った観光協会と連携し、大胆な発想と行動で観光分野の各種事業等の活性化と観光資源の新たな掘り起こしを推進してまいります。

あわせて観光資源としてのすずらん群生地、二風谷コタン、びらとり温泉、義経神社などへの観光客の積極的な誘致と、キャンプ場を有する二風谷ファミリールランドや二セウエコランドについてもソフト、ハード両面で入込客、観光消費額増のための取り組みを強化してまいります。

また、「日高山脈襟裳国定公園」の国立公園化が予定されていることから、日高山脈の秀峰、幌尻岳（ポロシリ）を有し、麓にアイヌ語地名や伝説などが数多く残る平取町としても、国立化により強化される自然環境の保全対策に合致する、公園内施設の整備などを国へ要請し、入園者や登山客の誘致による観光振興を図ってまいります。

快適に暮らせるまちづくり

【生活基盤】
町民が暮らすうえで基本となるライフライン関連施設を、適正かつ良好な状況で

維持管理し、住民サービスを提供することは、自治体の大きな責務でもあります。道路、橋梁、河川、水道、生活雑排水施設などのインフラは老朽化が顕著になってまいりす。これらは整備の緊急度、優先度を十分考慮しながら長寿命化計画等に基づき、事業コストの低減につながる工法なども検討し、引き続き進めてまいります。

国や北海道が管理する道路、河川などの整備については、一般国道237号振内地区の拡幅や道道平取静内線の貫気別市街地区間の整備、道道宿志別振内停車場線改良、河川の河道掘削や樋門整備など、町内に多くの整備箇所があることから、引き続き関係機関に早期整備を強く要請してまいります。

高齢者や障がい者のための移動手段の確保については、現在の路線バス、デマンドバス、福祉バスなどの体系の検証を進め、地域公共交通計画を策定し、より利便性の高い地域内での交通の在り方を探ります。

【防災・消防・救急】
近年の地球規模での気候変動を要因とする大雨や、千島・日本海溝で想定される大規模地震等の自然災害に対応できる防災体制のさらなる強化が大きな課題となっております。

これらは「地域防災計画」に基づき関係機関との綿密な連携により、特に当町で発

生する可能性が高い大雨洪水には、沙流川平取地区水害タイムラインに則った行動を効果的に実行いたします。そのための各地域での防災訓練も積極的に実施してまいります。

あわせて要援護者支援台帳システムや地域での見守りマップを活用し災害時における高齢者等の保護に迅速に対応してまいります。

消防はさらなる資機材の充実強化に努め、救急体制は各関係機関との連携を強化し、救急隊員のスキルアップを図り、救命率の向上に努めてまいります。

洪水対策としての平取ダム建設工事、関連付帯工事が令和4年度で完成し、これにより沙流川流域の治水対策はさらに強化され、町民の洪水への脅威が大きく軽減されることとなります。



平取ダム

【住環境】

平取町内での暮らしや雇用の確保には、住環境の整備が必須の条件となることから、令和4年度も公営住宅を本町地区に1棟4戸建設しました。

令和5年度では、みどりが丘住宅団地居住者が新たな住宅への入居を希望しない場合が多い現状などを鑑み、その状況に応じた公営住宅の整備手法等について、公営住宅等の配置適正化検討を実施し、そのうえで建て替え等の方向性を検討してまいります。あわせて民間の賃貸住宅の増設を進めるための支援制度を継続するとともに、空き家活用によるリノベーション住宅の整備なども検討し、住宅数の確保を図ってまいります。

また、町内の良好な景観の形成や倒壊による事故防止という観点からも廃屋の撤去を促進する制度の強化を検討してまいります。

【環境・景観・エネルギー】
国が掲げる2050年

ロカーボンの指針を受け、平取町としても令和4年12月に「平取町ゼロカーボンシティ」を宣言しました。これに基づき「平取町ゼロカーボン実行計画」を策定し、木質をはじめ可能性のあるバイオマスの活用に向けてさらに検討を進め、域内経済の循環とエネルギー自給率の向上、温室効果ガスの削減を図ってまいります。



電気自動車導入

令和3年度に制度化した「びらとり協働のまちづくり事業」を活用し、町民や高校生が自主的な活動を行ってまいります。今後も町民の力とアイデアを結集し、将来のまちづくりを検討できる仕組みの構築に向けて検討を続けてまいります。

急速な人口減少や高齢化により、地域の自治会、町内会活動が維持できない状況が懸念されています。各地域での組織の在り方や再編なども視野に、コミュニティの維持継続に向け、自治振興会や関係団体と議論・協議し、方向性や具体的方策を探ってまいります。

みんなで歩む協働のまちづくり

【協働】
平取町自治基本条例の主旨に則し、町民への十分な情報共有と積極的な住民参加により町政を運営してまい

も考慮し、本町市街地エリアの公共施設の効率的な整備を進めるため、それぞれの施設の改築の整備方針とスケジュールなどについて検討してまいります。



小学生議会の様子

公共事業予算の確保は、地域の経済の循環や雇用の確保といった重要な側面もあることから「一般のインフラ整備事業の継続と国土強靱化や環境保全分野での新たな公共事業の創出なども検討し、国や道関係機関等の制度による特定財源や良質起債の充たなど必須の条件としながら、適正規模の財政運営に努めてまいります。あわせてふるさと納税寄附金の増額を図る取り組みを強化してまいります。

さらに町民負担の公平性の確保から町税をはじめ使料等の税外収入を含めた、積極的な対応を図ってまいります。

以上、これからの町政運営についての各種施策等について、私の考え方を述べさせていただきます。人口減少や進展する地域の高齢化にいかに対応するかが、町政運営の大きな課題となっております。今後、平取町も移住施策など、人口減少を克服するための各種施策に引き続き取り組んでいきたいと考えているところではあります。



二風谷コタン



教育長 松田 拓美

松田教育長就任のごあいさつ

4月から、庄野剛前教育長の後任として教育長を拝命しました松田です。よろしくお願い申し上げます。本町の教育の充実・発展を図るのが務めであり、職責の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。今、新型コロナウイルスをはじめとして誰もが初めて遭遇する問題の発生、科学技術の急速な発達によって生活様式が大きく変わろうとしている現代において、常識や前提にとらわれず多様化する課題に、柔軟に対応する力や多様性を受容し他者と協働する能力を育むことが地域の発展のためには欠かせないことと考えます。次代の平取町を担う子ども達のもとより、全ての町民が笑顔で学ぶ町づくりに向けて、誠心誠意、職責に励んでまいります。皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

令和5年度 教育行政執行方針（要約版）

教育委員会では、令和3年度に策定した平取町教育推進計画を基本に子どもたち一人ひとりが夢と希望を持つことのできる学校教育の充実と、活力あるまちづくりを進めるため生涯学習社会の形成に努めてまいります。

教育行政に臨む 基本姿勢

「平取町の歴史・風土や文化を愛する心豊かな人づくりをめざして」を基本理念とし、豊かな自然と地理的条件のもと、この地に先住し自然を敬い共生してきたアイヌ民族や先人たちがともに築いた郷土の歴史、文化の理解を深めながら、厳しい社会を生き抜くためのスキルを身につけ、心豊かで責任感を持った人づくりをめざします。また、ICT技術の高度化や社会のグローバル化、新型コロナウイルス感染症の対応など社会生活の変化を、新しい時代の学びと働き方への変革の機会ととらえ、誰もが安全で安心な学習機会を得られるよう努めるとともに、学校と地域、教育委員会が連携協働しながら課題解決を図り、地域創生の力となる教育行政を進めてまいります。

生きる力を育む 学校教育の推進

①教育内容の充実
▼全国学力・学習状況調査への参加と町独自で行う標準学力検査の調査結果の分析・検証を速やかに行い、状況に応じた学習指導を行います。
▼主体的・対話的で深い学びによる授業改善の推進のため、学校全体で取り組む体制づくりを進めてまいります。
▼特別支援教育の推進のため、乳幼児期を含めた早期からの一貫した指導や支援が行われるよう、専門性の高い教育の推進に努めます。
▼外国語学習への意識を高め、積極的にコミュニケーションを図ることのできる児童生徒の育成に努めます。
▼児童生徒一人ひとりにタブレットパソコンが整備され、機器活用能力の向上、情報モラルに係る指導も行ってまいります。
▼自己の目標や生き方に目を向けたり、職業や進路に係る体験的な活動を行う中で、現在及び将来の学習と自己実現の繋がりを考え、発達段階に応じた学びが出来るよう取り組めます。

②豊かな人間性と 健やかな心身の育成
▼「特別の教科 道徳」を中心として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の質の向上を図ります。
▼平取町の未来を担う人材を育成するため、まちづくりに積極的に関わりを持ち、郷土に生きる自覚を養う取り組みを推進します。

の充実に努めます。
▼組織的・計画的な校内研修の充実を図るとともに、教職員の研究・研究を活性化させる環境整備に努めます。
▼「平取町立学校における働き方改革アクションプラン」に基づき、学校との連携による業務改善を推進します。
②地域とともにある 学校づくりの推進
▼学校と地域が一体となつて、地域の声を学校運営に活かします。

地域とともに歩む 学校教育の推進

▼子どもたちが自主的に読書する環境づくりに努めます。
▼コミュニケーション能力を高める学習活動の充実に努めます。
▼教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の充実に努めます。
▼子どもたちの健やかな成長と精神面での充実を図るため、楽しみながら運動やスポーツができるよう学校、家庭及び地域との連携を推進します。
③アイヌ文化学習の推進
▼アイヌ文化を深く等しく学べ、郷土の誇りと思ふことができる学習機会の提供や環境づくりに努めます。

③安全・安心な 教育環境の整備
▼就学支援体制を充実させるため就学に必要なとする援助措置を図ります。
▼学校施設・設備等の充実に努めます。
▼学校給食は、児童生徒が食の大切さを理解するうえで、果たす役割が大きく、学校給食の安全性の確保を図ります。
▼小中学生の通学支援するため、スクールのバス等の適切な運行及び通学費補助金等の支援充実を図ります。
▼子ども自身が危険を予知し回避する能力を育てるために防災教育の指導の充実に努めます。

への支援に努めるとともに、「平取高校の魅力化を図り存続させる会」と連携しながら施策を講じてまいります。
▼小中高の連携充実させるため、日常的な交流等が図られる取り組みを推進します。

潤いと活気のある 地域づくりをめざす 社会教育の推進

- ①学校を核とした 地域づくりの推進
▼地域と学校が連携・協働して様々な活動を行うとともに、協力者やボランティアの把握・活用を努めます。
▼放課後に子どもたちの安全・安心な居場所をつくり、多様な体験活動を通じ、地域の教育力の活性化を図ります。
②家庭・幼児教育の充実
▼それぞれの家庭の自主性を尊重し、心身の調和のとれた発達を図られる学習機会の提供に努めます。
▼幼児期に基本的な生活習慣を身につけると同時に、小学校以降における生き方の基礎を育み、社会全体で子育てを支援する取り組みを推進します。
③青少年教育の充実と 健全育成の推進
▼地域社会の一員としての義務や責任を果たすことができ、青少年を育成する環境づくりを推進します。
④成人教育の充実
▼生涯にわたって学習活動を行うための学習環境づくりを推進します。また、地域人材の

掘り起こしや育成を行い、持続可能な学び合いができる環境を整えます。
⑤公民館活動の充実
▼公民館活動、サークルの活動情報など地域住民が必要とする情報の提供に努めます。

芸術文化活動の 活性化と創造

①芸術文化活動の振興
▼各種文化団体による主催事業への後援及び助成支援、団体間の連携強化を推進するための指導・助言を行います。
▼芸術文化の鑑賞機会を提供するため、町民芸術劇場など多くの事業を展開し、芸術文化を子どもから大人まで広く町民に浸透させていきます。

生涯にわたるスポーツが 楽しめる環境の形成

①地域に根ざした スポーツ振興の推進
▼各種スポーツ行事・教室等を開催し、スポーツを通じて子どもから大人まで地域の交流を図る機会の充実を目指します。
▼スポーツ指導者には、経験と理論を持つ優れた人材の確保が必要となります。各団体と連携し各種研修会等を開催します。
▼競技力の向上及び競技人口の拡大に向けた各種事業に取り組むとともに、全道・全国大会等へ出場する選手の育成支援を図ります。
▼地域の特色を生かし地域に

根ざしたスポーツ振興を図るため、自発的な活動に対し支援します。
▼「体育館だより」や町ホームページなどを活用し、効果的な情報提供を図ります。
②スポーツ環境の整備・充実
▼利用者の利便性に配慮した管理運営を行う中で、地域に密着したサービスの維持向上に努めます。
▼老朽化する施設にあつては、その整備が課題となつております。町内全体のバランスや特性を生かせる機能分担等を考慮した活用が図られる施設整備を検討します。
▼町内各学校の協力を得ながら、学校体育館を一般開放し、スポーツを通じた地域活性化に努めます。

本の魅力とともに 知識・教養を高める 図書館活動の充実

①読書活動の推進と 資料提供の充実
▼生涯にわたる読書習慣の定着を図るため、読書推進を目的とする各種サービスの実施及び充実を努めます。
▼児童生徒の読書活動推進や学校図書室活動の支援に努め、サークル及びボランティアと連携・協力を図ります。
郷土の財産である 文化財の保護と活用
①アイヌ文化の振興及び二風谷アイヌ文化博物館の充実
▼周辺施設と連携協力した学

習機会の場を設け、来館者対応を進めてまいります。
▼関係機関と連携を図りながらアイヌ文化の正しい理解と普及啓発活動を推進します。
▼伝承活動団体への適切な支援と協力を図り、体験学習の魅力発信に力をいれます。
②有形・無形文化財等の 保護と活用
▼「旧マンロー邸」や「二風谷遺跡群出土品」などを適切に保護するとともに、関係団体と連携し有形文化財を活用した事業を展開します。
▼国指定重要有形民俗文化財である「北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション」を適切に保存管理しながら有効な活用を努めます。また、国指定無形民俗文化財のアイヌ古式舞踊を保護推進するために、地域の文化資源として有効な活用施策を推進します。

④開拓財産の保存と活用

▼平取町の開拓当時の産業や生活の様子を理解できる展示に努めます。また、学校教育における総合学習や地域の郷土学習、農作業体験など開拓財産の有効活用を推進します。
▼「平取町開拓財産展示施設」を町内の方に利用してもらうため、施設及び利用方法について周知してまいります。

教育委員会は、町及び関係機関と連携を図り、様々な教育課題に対応し、未来を担う子どもたちの教育の充実に努めるとともに、生涯にわたる生きがいと心の豊かさを求め、潤いと活気のある地域づくりに寄与する町民を積極的に支援する、「生涯学習のまちづくり」を目指してまいります。

▼重要文化的景観「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」を保護活用するため、関係機関との連携による施策を推進します。

▼町内の発掘調査により出土した遺物は、埋蔵文化財として適切な資料の保存と管理を実施しながら、地域の歴史を語る貴重な財産として有効活用を努めます。
▼埋蔵文化財包蔵地については、開発行為の計画段階から「埋蔵文化財の保護」を目的とした事前協議の必要性について理解を求めていきます。
③沙流川歴史館の充実
▼沙流川歴史館の適切な管理運営を継続してまいります。
▼沙流川流域の自然と歴史に関する学習機会の場を提供するため、特別展や企画展など、情報発信と学習機会の提供を進めます。

▼開拓財産の保存と活用
▼平取町の開拓当時の産業や生活の様子を理解できる展示に努めます。また、学校教育における総合学習や地域の郷土学習、農作業体験など開拓財産の有効活用を推進します。
▼「平取町開拓財産展示施設」を町内の方に利用してもらうため、施設及び利用方法について周知してまいります。

教育委員会は、町及び関係機関と連携を図り、様々な教育課題に対応し、未来を担う子どもたちの教育の充実に努めるとともに、生涯にわたる生きがいと心の豊かさを求め、潤いと活気のある地域づくりに寄与する町民を積極的に支援する、「生涯学習のまちづくり」を目指してまいります。

まちのひろば

2/24

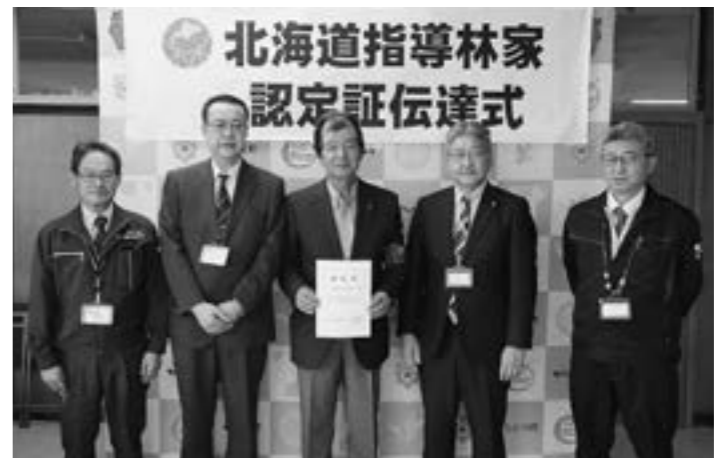
日高地域青年林業士に認定されました！

振内町在住の佐々健太郎氏が日高地域青年林業士に認定され、日高振興局長より認定証が交付されました。この制度は、地域の森林づくりに意欲のある後継者を北海道が「青年林業士」に認定することで、地域の林業普及指導における若手リーダーとして、活躍して頂くことを目的としています。町内では5人目の認定となります。



3/24

北海道指導林家に認定されました！



本町在住の川奈野敏文氏が北海道知事から北海道指導林家に認定され、日高振興局森林室長より認定証が伝達されました。この制度は、模範的な施業技術等を有する林家を「指導林家」に認定することで、地域の林業普及指導における指導者として、活躍して頂くことを目的としています。町内では3人目の認定となります。

3/24

消防庁長官表彰 永年勤続功労章

日高西部消防組合平取消防団員別分団長 丸岡敏弘氏（貫気別）が、令和4年度消防功労者消防庁長官表彰 永年勤続功労章を受章され、3月23日(木)に日高西部消防組合副管理者の遠藤町長より表彰状等が伝達されました。丸岡氏は、昭和60年拝命以来、37年の永きにわたり、日夜火災予防や防火思想の普及に寄与された功績がたたえられ、今回の受章となりました。



3/24

平取高校と地域の未来を考えるフォーラム

町と平取高校の魅力化を図り存続させる会が主催となり、学校の魅力向上を考える「平取高校と地域の未来を考えるフォーラム」が中央公民館で開催され、約40名が参加しました。基調講演では、高校の魅力化は高校だけでなく、地域の大人も積極的に関わり、協働で考えることが大切であると学びました。講演後は、平取高校の鈴木校長と遠藤町長のほか、講師も交えてパネルディスカッションが行われました。参加者からの質問や意見があり、活発な議論となりました。



4/3

認定こども園バチラー保育園になりました



バチラー保育園の園舎が新しく建て替わったことに伴い、認定こども園バチラー保育園となりました。保育園だけではなく、幼稚園としての機能も有しています。新しく入園した9名を加え、総勢59名が通園しています。古い園舎は昭和47年に建てられ、51年以上が経過しています。今年中に取り壊しとなり、跡地は園庭として整備される予定です。

ご寄附ありがとうございます

株式会社セイコーマート様より寄附がありました。ご厚意に感謝いたします。

地域貢献感謝します

株式会社 小林組より、イオル文化交流センター誘導看板の購入および設置業務をしていただきました。ご厚意に感謝いたします。



教育委員会からのお知らせ

絵本で自然の大切さ、命の尊さを多くの人へ伝える

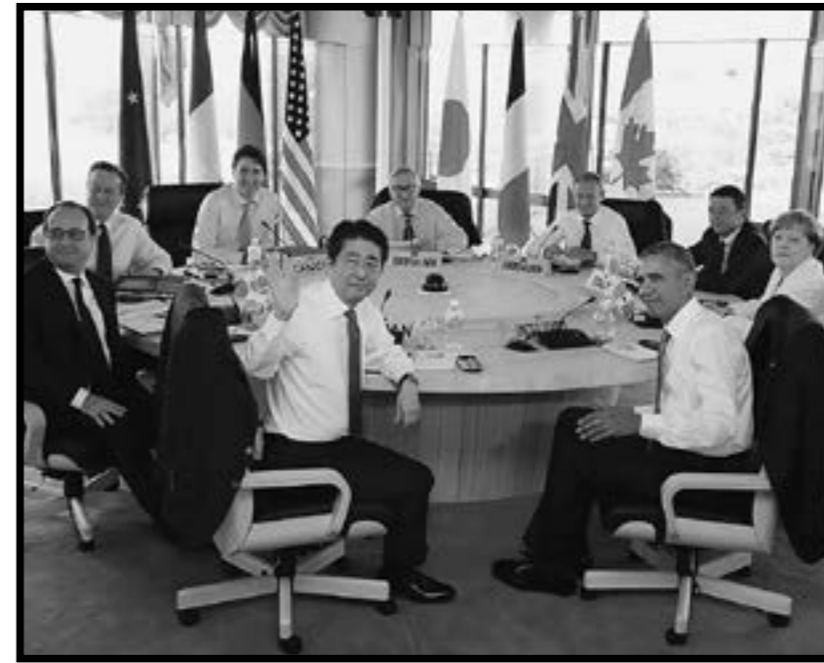
3月10日(金)に各小学校の図書室へ「二風谷イタ」の絵本を寄贈しました。この絵本は、平取町教育委員会と山本光一氏が絵本の出版者であり、全国各地で活動により「シマエナガ」の魅力を伝えることに努めています。今年も多数の絵本を寄贈し、子どもたちに自然の大切さや命の尊さを伝える機会となりました。



前回（伊勢志摩サミット）の様子（2016年）

2023年G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合で

「二風谷アットウシ」「二風谷イタ」が記念品に!!



今年、日本はG7議長国として広島サミットを開催します。G7サミットの関係閣僚会合のうち、「気候・エネルギー・環境大臣会合」が、4月15日(土)から16日(日)に札幌市で開催されました。

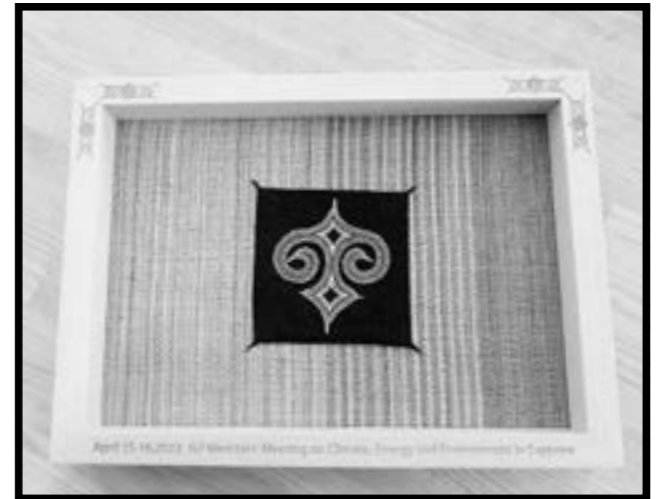
札幌市は、2018年に、国から「SDGs未来都市」初の選定29都市の一つに選ばれ、ビルや住宅が立ち並ぶ「高度な都市機能」と、森林や公園といった「自然」が調和したまちとして、サステイナブルな都市「札幌」を世界へ発信しようとして取り組んでいます。今回の大臣会合のなかで、北海道唯一の伝統的工芸品である「二風谷アットウシ」と「二風谷イタ」が記念品として選ばれました。

町としても、「二風谷アットウシ」と「二風谷イタ」を世界へ発信する契機として、今後も国や北海道と協力し、取り組んでまいります。

「二風谷アットウシ」

かつては沙流川流域で、現在は周辺地域の森林で育ったオヒヨウなどの樹皮の内皮から作った糸を用いて織り込まれた反物。二風谷アットウシは、特に糸の撚りをかけることが特徴とされています。水に強く、通気性に優れ、天然繊維としては類稀な強靭さと独特の風合いがあります。

着物、半纏、帯、小物等に使用されています。



伝統的工芸品「二風谷アットウシ」

「二風谷イタ」

沙流川流域に古くから伝わる木製の浅く平たい形状の盆。沙流川地方に伝えられている、モレウノカ(うずまき・形を模したもの)などのアイヌ文様のほか、ラムラムノカ(ウロコ・形を模したもの)と呼ばれるウロコ彫りが施される特徴のある彫り方がされています。



伝統的工芸品「二風谷イタ」

G7とは?

G7サミット（主要国首脳会議）とは、仏、米、英、独、日、伊、加（議長国順）の7か国並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して、毎年開催される国際会議です。

G7サミットでは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7首脳が一つのテーブルを囲みながら、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について、率直な意見交換を行います。

日本での開催は2016年の伊勢志摩サミット以来7年ぶりとなります。

新1年生に「防犯ブザー」の贈呈

3月24日(金)に平取町自治振興会 互野勝弘会長から「防犯ブザー」が教育長へ手渡されました。

入学式の日には各小学校から新1年生34名に手渡されます。

「防犯ブザー」は、子どもたちの登下校の安全を願って毎年贈呈されています。

温かい心遣いに感謝いたします。



町有バスが新しくなりました!

3月24日(金)に、老朽化していたバスの町用バス(中型)を宝くじの助成金で大型バスに更新しました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業を財源として実施しているコミュニティ助成事業で、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に行われているものです。

新しいバスは、これまでのバスと同じ色で、エレベーターが完備され、最大2台まで車いすを安全に乗せることができます。また、車内にはオゾン発生器が装備され、感染症対策に配慮されています。

今後も安全・安心な運行に努めてまいります。



教育委員会からのお知らせ

小・中学校教職員26名に辞令交付

4月5日(水)、令和5年度平取町教職員辞令交付式が行われ、新たに異動のあった26名に対して、教育長から辞令が交付されました。

交付式にあたり、教育長は「新型コロナウイルス感染症も収束しつつあり、5月からは5類に移行となります。令和5年度は従来の学校の姿に戻す一年となります。学校や家庭、地域が連携して、さらに教育活動を充実させ、すべては平取町の子どものために職責を果たして欲しい。学校と教育委員会が一つになって児童・生徒を育てていきたいと思います。」と述べられました。



【後列左から】中村梨乃 事務職員 中澤 眞 事務職員 三宅香織 教諭 福澤透真 教諭 小林奈菜 教諭
(貫気別小) (振内中) (貫気別小) (振内中) (平取中)

【前列左から】遠藤 泰地 教諭 林 英樹 教諭 松田教育長 大西 咲良 教諭 岩下 陽子 養護教諭
(平取中) (振内中) (平取小) (振内小)

※田中理美 教諭(振内小)は欠席



【後列左から】伊部由紀江 教頭 小林 史明 教頭 矢口 学 教頭
(貫気別小) (紫雲古津小) (振内中)

【前列左から】渡辺 智 校長 木田 理博 校長 松田教育長 矢野 渉 校長 遠山 昌志 校長
(振内中) (平取小) (紫雲古津小) (二風谷小)



【後列左から】仙石裕子 教諭 江良智子 教諭 高橋美智子 教諭 岡本 基 教諭 小野寺雄一 教諭
(二風谷小) (平取中) (平取小) (平取小) (平取小)

【前列左から】小野寺明子 教諭 佐藤 法子 教諭 松田教育長 水戸 睦 教諭 芳野 正和 教諭
(二風谷小) (貫気別小) (振内小) (振内中)

新年度がスタート！ 新しい環境に慣れたかな？



新年度がスタートした4月、新入学や進級を迎え、新しい環境にもそろそろ慣れてきたのではないのでしょうか。と同時に疲れもたまってきたのでは無いでしょうか。学校では4月以降、児童生徒と教職員に対し、マスクの着用を求めないことが基本となり、それぞれの主体的な選択を尊重することになります。

引き続き、学校では子どもたちを感染のリスクから守るため、教室のこまめな換気や手洗い・うがいを促してまいります。ご家庭でも、風邪等の症状がある場合は、学校を休ませるよう配慮をお願いします。

新しい環境の中で、小学校低学年や保育園児にとって、家庭での支援が一番大切だと思います。学校がある日と同じように、休日も規則正しい生活を送ることが一番です。「早寝・早起き・朝ごはん」を大切にしていきたいと思います。学校と家庭や地域との双方向での連携により、温かく成長を見守り、支援していく姿勢を継続していきましょう。

交通安全！ 児童のかけがえない命を、地域全体で交通事故から守りましょう。



新学期を迎えたこの時期は全国的に交通事故などが多発する傾向にあります。

ゴールデンウィーク、観光などで自動車の増加があり、交通事故に遭わないように十分注意する必要があります。

一人ひとりが交通ルールを守り、相手に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちをもって、交通マナーを実践し、地域ぐるみで交通事故を防いでいきましょう。

図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30 ~ 18:00
土・日曜日 9:30 ~ 17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館

新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書（小説・エッセイ）】

『残陽の廓』／あさのあつこ
『浪華燃ゆ』／伊東潤
『マイ・リトル・ヒーロー』／沖方丁
『文豪、社長になる』／門井慶喜
『砂の宮殿』／久坂部羊
『忘らるる物語』／高殿円
『ふれあいサンドイッチ』／谷瑞恵
『忍びの副業』上下／畠中恵
『天国からの宅配便 あの人の贈り物』／終サナカ
『魔女と過ごした七日間』／東野圭吾
『からだの美』／小川洋子
『マリコ、東奔西走』／林真理子
『月と散文』／又吉直樹
『ものがわかるということ』／養老孟司

【児童書】

『西の果ての白馬』／マイケル・モーパーゴ
『きみがきみらしく生きるための子どもの権利』／甲斐田万智子
『カムイの大地 北海道と松浦武四郎』／泉田もと

【一般書（その他）】

『102歳、一人暮らし。』／石井哲代
『ぼけの壁』／和田秀樹
『腎臓病とわかったら最初に読む食事の本』／森維久郎
『「冷え症外来」の医師が教える冷えとり習慣』／林忍
『もしも今日、あなたの大切な人が亡くなったとしたら』／安部由美子
『信仰から解放されない子どもたち』／横道誠
『検証ウクライナ侵攻 10の焦点』／朝日新聞取材班

【絵本】

『聞いて聞いて！ー音と耳のはなしー』／高津修、遠藤義人・文 長崎訓子・絵
『くすのきだんちのひ・み・つ』／武鹿悦子・作 末崎茂樹・絵
『さくらちゃんのかえりみち』／かさいまり・作 吉田尚令・絵
『フルールヴィルのいちねん』／フェリシタ・サラ
『ぼくはいつだってどこにいたんだ』／ヨシタケ シンスケ

★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★

■次回 5月11日（木）

【振内地区】 10:00 ~ 12:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】 14:00 ~ 16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■毎月第一木曜日に運行します。

■貫気別支所・振内支所（青少年会館）で返却できます。

図書館カレンダー

5月 ■は休館日です

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

◆ 新着DVD ◆

【映画】

『最高の人生の見つけ方』
『スーパー戦闘純烈ジャー』
『大河への道』
『妻よ薔薇のように』
『妖怪大戦争 ガーディアンズ』
『弱虫ペダル』(実写版)
『老後の資金がありません!』
『ミュージタント・ニンジャ・タートルズ影 (シャドウズ)』
【アニメ・児童】
『アヤと魔女』
『ウルトラマンギンガS 決戦!ウルトラ10勇士!!』
『ウルトラマンオーブ 絆の力、おかりします!』

『ウルトラマンタイガ ニュージェネクライマックス』
【映画 すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ】
『映画おしりたんてい シリアーティ』
『リトル・マーメイド』
【アイヌ関連DVD】
『アイヌモシリ』
『kapiw(𐰇𐰣𐰸)と apappo(𐰇𐰣𐰸𐰸) ~アイヌの姉妹の物語~』
『アイヌと美しき日本』

●オンライン予約ができます●

【お問い合わせ】 平取町立図書館

□電話 01457-4-6666
□FAX 01457-4-6871
□メール risu2@guitar.ocn.ne.jp



すこやかだより

保健福祉課からのお知らせ

ほけんすいしんかから 保健推進係です!

保健推進係には、保健師と栄養士が、町民の皆さんの健康的な生活を送るための活動や事業を行っています。

『すこやかだより』では、毎月、健康に関する情報を掲載しますので、ぜひご覧ください。

母子保健事業

①妊婦訪問・赤ちゃん訪問

妊娠中期頃に担当保健師が妊娠支援グッズを持って、ご自宅に訪問します。妊娠中のことや出産に向けて一緒に考えたり、気になることの相談にのります。また、出産後1カ月前後で担当保健師がご自宅を訪問し、赤ちゃんやお母さんの産後の体調確認などをします。

②産後ママ安心ケア事業

1歳未満の赤ちゃんとお母さんを対象に、お母さんのからだのケアや子育ての相談・支援を委託助産師によって行います。

③スマイル親子サポート事業

妊婦さんや1歳未満の赤ちゃんがいるご家族を対象に、妊娠・出産や子育てに関する悩みの相談、地域の母子保健・子育てに関する情報提供を行います。地域の方が訪問します。

④乳幼児健診

小児科医、歯科医、歯科衛生士、心理士、保健師、栄養士等の専門スタッフによる健診です。お子さんの成長や発達を確認し、お子さんに関するさまざまな相談も受け付けています。

⑤予防接種

水ぼうそうや麻疹風しんなど予防できる病気からお子さんを守り、また病気のまん延予防のために実施します。対象者へは個別にご案内しています。

⑥親子教室

全2回シリーズで実施しています。妊娠中からだの変化や食生活についてお話をします。お父さんの参加も大歓迎です。

⑦歯科健診・フッ素塗布

町内の歯科診療所で歯科健診・フッ素塗布が受けられます。フッ素は、歯の質を強くし、虫歯予防になります。子どもの歯の健康は大人になってからの歯の健康につながります。1歳からフッ素塗布ができますので、ぜひ始めましょう。

⑧育児相談・栄養相談

月に1回、ふれあいセンターびらとり2階、児童館で行われる「みんなの広場おひさま」で育児相談や栄養相談を実施しています。その他にも随時、相談を受け付けておりますので、お気軽にお声がけください。

成人保健事業

①特定健診・各種がん検診

6月・11月・2月の年に3回ふれあいセンターびらとり等で集団検診を実施している他、札幌がん検診センター・札幌厚生病院・平取町国保病院の3か所でも個別による受診もできます。生活習慣病は年に1回、体のチェックが予防の第一歩です。毎年同じ時期に健診を受けられるように、「健診自動登録制度」も実施していますので、申込みの手間なく受診ができます。

②40・50歳無料検診

今年度中に40・50歳になる方は各がん検診(胃・肺・大腸)・歯科健診・肝臓検査が無料になります。また、国民健康保険加入者は特定健診が無料になります。

③びらとり健康づくり

平取町の大きな健康課題の一つである高血糖に対して、糖尿病発症を抑えることを目的に、健康づくりの取組へ挑戦する方を応援する事業です。食事と運動による生活習慣改善の取組を3か月継続できた方へ町内で使える商品券をプレゼントします。より効果的な取組となるよう保健師・栄養士がアドバイザーとしてサポートします。

④後期高齢者歯科健診

町内の歯科診療所で「歯と口の健診」が受けられます。対象の方は4月末に自宅へ受診券が届きます。

⑤こころの健康相談会

専門の相談スタッフによる、さまざまな心の健康のお悩みについて、ご相談をお受けします。ご本人の事だけでなく、お子さんの事やご家族のご相談など、まずはひとりで悩まずにご相談ください。年間8回開催予定です。日程等の詳細は、まちだよりをご覧ください。

⑥健康づくり教室

運動不足解消を目的に、専門の講師によるヨガや太極拳、体幹トレーニングなど、いろいろな身体活動を生活の中に取り入れてもらえるような教室です。

⑦脳検診

生活習慣病に関係する脳血管の変化や病気の予防と早期発見を目的として脳検診を実施します。対象者は40歳~70歳までの町民の方で検査費用は5千円です。申込み開始時期等については、まちだよりのチラシでお知らせします。

【お問い合わせ先】

保健福祉課保健推進係
（ふれあいセンターびらとり内）
電話 4-6112
お気軽にお問い合わせください。

今月のワンショット



◆リレー形式のベースランニング◆

札幌北高校野球部が遠征で平取町に訪れ、平取野球スポーツ少年団と交流練習が4月1日(土)に町民総合グラウンドで行われました。

2チームに分かれてリアル野球盤を実施し、ヒットやアウトになるたびに子ども達は一喜一憂して盛り上がりました。

- 平取町役場 総務課(代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 観光商工課 ☎ 3-7703
- 産業課 ☎ 2-2223
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111
- 町民課 ☎ 4-6113
- 保健福祉課 保健推進係・子育て支援係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 平取町教育委員会 生涯学習課 ☎ 2-2619
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085
- 図書館 ☎ 4-6666
- 役場振内支所 ☎ 3-3211
- 役場貫気別支所 ☎ 5-5204
- 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
- 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
- 平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024
- 平取消防署 ☎ 2-2361

まちの人口と世帯数

		(前月比)
人口	4,553 人	(-74 人)
男	2,242 人	(-40 人)
女	2,311 人	(-34 人)
世帯数	2,399 世帯	(-44 世帯)

※令和5年3月末現在の住民基本台帳による

楳の実俳句会

薬効や予報とちがう春の空
早春賦口ずきみつ空仰ぐ
いよよくる春待ちきれぬ甲子園
年ごとに装い変えて春は来る
洋酒瓶子の仏前に寒の水
春寒し何もかにもと節約す
春寒しあと三枚のシツプ薬
春寒や庭木に二匹ホーホケキョ
土見えてほっと安堵の心地かな

井内 青風
内海 綾子
遠藤 紫光
熊谷 厚子
柴田 紫梢
千葉 俊子
長野 新一
道政 サツ子
渡辺 正子



ホームページ QR コード